

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420010	X-13/31-B-3-420010	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報セキュリティ	桑原 悟			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	3年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	3年		

授業目的

情報セキュリティは、IT社会を支える重要なものであることには疑問を挟む余地はありません。この授業では、組織にとって情報セキュリティが必要な背景、情報セキュリティの実現に利用されている個々の要素技術、その技術を具現化した製品の適用と利用技術及び、組織経営にとっての情報セキュリティの位置付けについて学びます。この授業は、情報文化学部のディプロマポリシーのうちの、『情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 授業ガイダンス、アンケート、情報セキュリティとはなにか 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第2回 【授】 ネットワークとビジネス（情報セキュリティの必要性） 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第3回 【授】 組織の置かれた状況 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第4回 【授】 情報セキュリティポリシー 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第5回 【授】 リスクマネジメント1（リスク分析） 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第6回 【授】 リスクマネジメント2（リスク対応） 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などでの復習</p> <p>第7回 【授】 セキュリティ対策（1） ・ファイアウォール 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第8回 【授】 セキュリティ対策（2） ・IDS（侵入検知システム） 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p>	<p>第9回 【授】 セキュリティ対策（3） ・コンピュータウイルス ・サーバのセキュリティ設定 ・認証 ・パスワード ・脆弱性検査 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第10回 【授】 セキュリティ対策（4） ・暗号化とその応用及び認証1 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第11回 【授】 セキュリティ対策（5） ・暗号化とその応用及び認証2 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第12回 【授】 セキュリティ対策（6） ・ぜい弱性検査 ・負荷分散と冗長化 ・コンテンツジェンシープラン ・情報セキュリティ監査 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第13回 【授】 情報セキュリティ関連の最新の動向 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などの復習</p> <p>第14回 【授】 まとめ 【前・後】 予習復習に4時間：事前配布資料による予習／授業中小問などでの復習</p> <p>第15回 【授】 ※第15回分は、授業調整期間中（8／4）を行う。 内容は、定期試験に替える試験とする。 【前・後】 試験のための予習に4時間：既配布資料（全体）及び授業中小問（全体）などの復習による。</p> <p>第16回 【授】 実施しない。</p>
--	--

成績評価方法

成績評価は、定期試験に替えて授業調整期間（8／4）に行う試験100%とする。授業で指定する「出席代替課題」の提出により1回分の出席に替える。定期試験の成績分布を授業アンケートの講評の中に示して、フィードバックを行う。各回の授業中に小問を課し、これの答え合わせをすることで、フィードバックをする。（小問は、成績には関係しない。）

教科書・参考書

新技術の登場が盛んな分野であるので、授業に合わせた講義資料をポータルサイトに掲載する予定です。

受講に当たっての留意事項

注）受講者の理解度により、順番及び内容を調整することがあります。受講に前提条件はありませんが、
・ネットワークコンピューティングの授業内容を理解していることが望ましい。
・数学1、数学2、テレコミュニケーション、組織と経営の単位を取得していることが望ましい。
・基礎自由科目「数学基礎」の履修を指導された者は、これを履修していることが望ましい。
授業に集中している学生、教員の邪魔になる行為をするものは退出させます（出席を認めない）。質問は歓迎するので、遠慮なく質問してください。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
○	三菱電機株式会社において社内情報セキュリティを担当し、KPMG ビジネスアシュアランス株式会社において顧客対応の情報システムコンサルティングを行った経験に基づく授業を行っている。	×

学習到達目標

情報セキュリティが必要な背景、個々の要素技術、製品、利用技術及び、組織にとっての情報セキュリティの位置付けについて理解できる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習